

栽培技術の向上と継承を目的とした 「佐那河内果樹アグリスクール」

徳島県中東部に位置する佐那河内村は、徳島の特産すだち、温州みかん、キウイフルーツ、いちご、ねぎなどの生産が盛んな地域です。

佐那河内村は、平成29年度より果樹の栽培技術の向上と継承を目的に「佐那河内果樹アグリスクール」を開校しました。平成30年度も6月に開校し、村内の新規就農者、農業担い手、UターンIターン者で就農を目指す者に加え、村外の方で、村内で就農を目指す者など佐那河内村に関わりのある者を対象に10回の講義予定で行っています。

講師に、村内外の専門家を迎え、講義は果樹栽培における防除、施肥、収穫、貯蔵、剪定などの栽培技術を学べる内容となっています。

11月に行われた講義では、午前はキウイフルーツの収穫実習と貯蔵施設等の見学を行い、午後は温州みかんの収穫と貯蔵管理についての座学が行われました。

受講生は、丁寧な講師の説明を熱心に聞き、より実践的な知識、栽培技術を学ばれていました。



(講師園地での説明の様子)



(収穫実習の様子)



(収穫したキウイフルーツ)



(専用選果機の見学)

本格的に取り組む担い手や、新規に就農する者を育成するとともに、関係人口を増やすことで、佐那河内村の農業の継承や地域の活性化につながる事を目指し、「佐那河内果樹アグリスクール」は行われています。

平成30年産水稻の作付面積及び予想収穫量(10月15日現在)

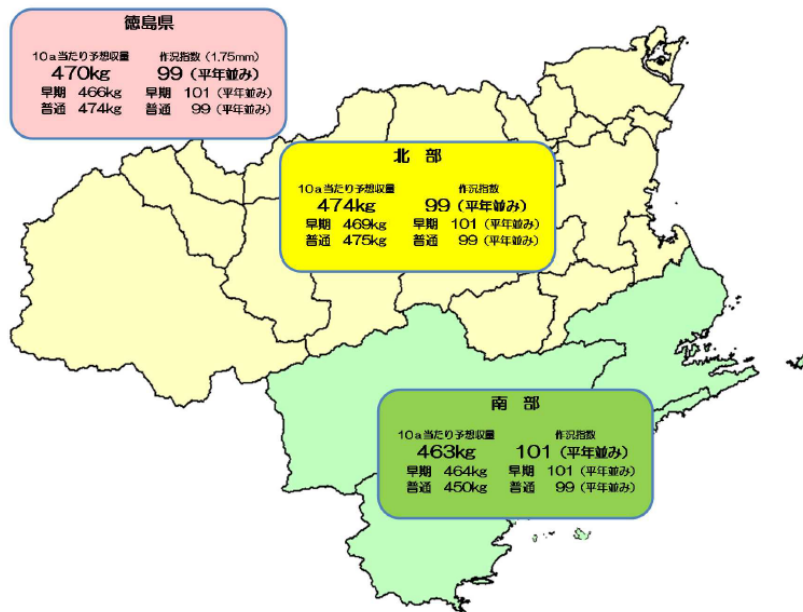
中国四国農政局は、平成30年10月31日に「平成30年産水稻の作付面積及び予想収穫量(10月15日現在中国地域・四国地域)」を公表しました。

徳島県の平成30年産水稻の作付面積(子実用)は、1万1,400haで、前年産に比べ100ha(1%)減少しました。

10月15日現在における10a当たり予想収量は470kgで、前年産に比べ10kgの減少が見込まれます。

また、農家等が使用しているふるい目幅(四国地域は1.75mm)ベースの作況指数は99(平年並み)が見込まれます。

予想収穫量(子実用)は5万3,600tで、前年産に比べ1,600t(3%)の減少が見込まれます。



詳しくはこちらをご覧ください。
中国四国農政局ホームページ

http://www.maff.go.jp/chushi/press/t_toukei/181031.html

平成30年度中国・四国地域一農ネット交流会の開催及び参加者の募集について

中国四国農政局では、平成30年12月5日(水曜日)に岡山第2合同庁舎で、平成30年度中国・四国地域一農ネット交流会を開催します。

本交流会は、中国・四国地域の青年新規就農者や研修生等が、県域を越え日頃の悩み等について話し合うことができる場として、仲間づくりを通じた新規就農者の着実な定着と経営の発展に資することを目的として開催するものです。

平成30年度 中国・四国地域一農ネット交流会



12月5日(水)開催!

情報交換会あり!

参加費無料!

詳しくはこちらをご覧ください。
中国四国農政局ホームページ

http://www.maff.go.jp/chushi/press/ke_sien/181106_19.html

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集:中国四国農政局 徳島県拠点

〒770-0943 徳島市中昭和町2丁目32

TEL(088)622-6131(内線214) FAX(088)626-2091 <農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>